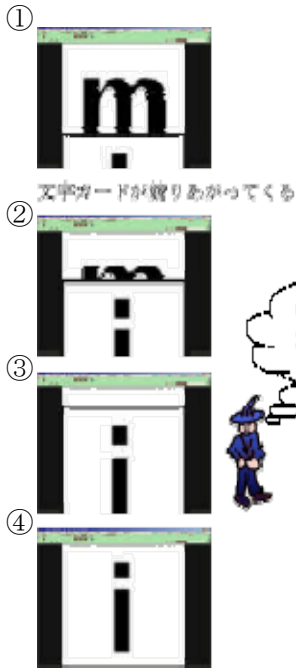


音声重視だからこそ 文字も大切にしたい

# 絵で見る英語の素材集で 1年生も楽しくアルファベット



「もう」が出たから  
これは！だ！

マイク先生がリモコンのボタンを押すと、次の文字カードが、ジリッ、ジリッとせりあがってくる。見え始めた文字の頭の所を見て「あつ、アイだ」「いや、ジエイだ」と子供たちが言い始めた。するとある子が「絶対アイだよ」と自信満々に答えた。

## 小学校英語 文字導入のすすめ



カードが全部見えてくる。確かに「アイ」だ。驚いたのはマイク先生。「だってジエイはさっき出たもん」と自慢げに先生を見上げて言った。これは小学一年生のクラス。幼稚園のときに

アルファベットの歌を習い、一年になったこの4月から、素材集の文字カードを使い始め、フラッシュカードのせり出し(ランダム)でゲーム感覚の反復練習をする。週一・四十五分の授

文字は、空中を飛び交う音がちりちりと捕まえるよすが。高学年ともなると、「文字抜き・音だけ」は返ってストレスの原因にもなる。言葉にとって不可欠な文字を、避けるのではなく正面からきちんと取り組むこと、それが公教育にも求められる。



第12号

2009年6月19日(金)

発行所

ミント音声教育研究所

〒370-0013 群馬県  
高崎市萩原町 950-31  
Tel/Fax 027-353-1091

### 紙面案内

連載	企画	記事
板の選び方その2	メディア点描/コンピュータの外にメディアの原点を見る 電子教材の諸用件⑨/電子黒	絵で見る英語の素材集で1年生も楽しくアルファベット 生も楽しくアルファベット メディア点描/コンピュータの外にメディアの原点を見る 電子教材の諸用件⑨/電子黒
	二面	一面

ユーザーサポート  
027-353-1091

m-Boxed やプレーヤーミント利用方法のお尋ねや教材のお問い合わせは電話で受け付けています

業。次の一步を踏み出すための基礎力定着に電子教材は大きな力を發揮している。

文字を避けずに  
正面から取り組む



お知らせ

英語学会などでの関連発表

#### ◇ 8/5-6 小学校英語における文字導入の すすめ—電子教材が切り開く可能性 (外国語教育メディア学会 神戸)

「週一回の授業では文字など教えられない」「文字が英語嫌いを増やす」…混乱が続く小学校英語の現場に、文字導入の実践的提案を、教材・教授法・実施例とともに挙げる。「音とリズムから入るフォニックスライム」

#### ■ 5/24 プレーヤーミントを使った日本語 マルチメディア教材のデモンスト レーション (日本語教育学会 千葉)

東海大学の外崎、宮城両先生による発表では質問や意見が活発に交換された。



#### ■ 6/13 チャンクごとの読解状況を精密 に記録する装置の開発と利用研究 (外 国語教育メディア学会 東京)

ミント音声教育研究所の田淵による発表の後、「視線の動きも観察してはどうか」「フレーズごとの読解速度を計測して、今後どう活かすのか」など質疑応答が行われた。



# 電子黒板の選び方

その2

一口に電子黒板と言っても、実はタイプが多いことは意外と知られていない。

ところが電子黒板となると操作性が、メーカーや機種ごとに変わってしまう。

またたとえば自動車。どの用途でも操作はおなじだが、用途によって乗用車、ワゴン、トラック、バスなどを使い分ける。

電子黒板を選ぶときには、そうした操作性と用途がポイントとなる。値段や行政と業者の売り込みだけで決めてしまうと、結局は現場に合わずがいく。

「映画が面白かったのでもってDVDを買って家族と楽しもうと思ったのにつまらなかつた。」と言う経験はないですか？

短・利用時ごとにプロジェクタの設置作業が必要。利用中に位置決めがずれることがある。

## 伝統芸 絵本で身近

### ・狂言や落語 言葉のリズム楽しむ

4月の読売新聞の記事見出しです。

英語だけでなく、日本語教育でも音声重視したいと、ミニト名作劇場では、昔話やや古典の朗読絵本をネット公開してきた。そうしたこともあり、見出しの「絵本」「言葉のリズム」に引き寄せられて記事を追った。

「狂言を題材にした絵本には、繰り返しのフレーズや擬音語が多く、子供たちはすぐに覚え使います。」

も狂言師が講師になっている。さらに読み進めて行く。

「ほんわかとした雰囲気の本が多い中、ウソや見栄など、人間らしい姿を正面

お母さんやお父さんによる読み聞かせが子供の情操や言語認知活動に与える影響の大きさは、最近特に見直されてきている。絵と声と指差し、そして肌のぬくもり。これほどのマルチメディアは得がたい。

電子授業の先輩である大学関係者の多くは、「使いこなすための研修」と「授業で使える電子教材」こそ成否の鍵を握ると指摘する。

# コンピュータの外に メディアの原点を見る

## 最近の絵本事情

### メディアの点描

# コンピュータの外に

# メディアの原点を見る

から描いた狂言絵本は子供たちをひきつけます。物語が簡潔なのもいい。

合った文化教材を提示する」とも通じる。

教育効果を考えると、画面サイズを大きくできるプロジェクタは有力な教具となる。そこで今回は、このタイプに絞って得失を紹介する。

スクリーン型  
スクリーンや黒板、白い壁に投影するだけで電子機能はない

## スタジオ効果の 臨場感が記憶を左右

「映画が面白かったのでもってDVDを買って家族と楽しもうと思ったのにつまらなかつた。」

## 定着率向上が望める プロジェクタ投影型

イズは、子供たちの印象に大きくかわる。大きな画面は、情報に、感情と言うインパクトをこめることができ、定着率を左右する。

## ユニット貼付け型



eBeam

長・手のひらサイズで携帯便利。既存黒板に貼り付けて使える。安価  
短・利用時ごとにプロジェクタの設置作業が必要。

## 天釣り固定型

プロジェクタを天井から吊り下げ、ボードを壁に固定する。



アクティブボード

長・一番安定している  
短・設置工事が必要

## キャスター移動型

キャスターつきホワイトボードと同じ。



スマートボード

長・クラス間移動可能  
(ただし同一フロア)